

# 平成29年度第2回仙北地域協議会会議録

平成29年7月12日

仙北地域協議会

## 平成29年度第2回仙北地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名	3
■協議	3
(1) 地域枠予算について	3
(2) 仙北地域の課題について	1 1
(3) 29年度仙北地域の未来を語る会について	1 2
■その他	1 5
■閉会	1 5
■署名	1 5

## 平成29年度 第2回仙北地域協議会 会議録

---

■日 時：平成29年7月12日（水） 午後6時

■会 場：大仙市史跡の里せんぼく「さくまろ館」 大研修室

■出席委員：14名

大 釜 滝 浩、 大 河 奈々子、 草 薨 美 香、 小 須 田 顕  
小 松 郁 子、 小 柳 伸 一、 佐 藤 あや子、 佐 藤 隆 造  
タベルスキ マイケル、 中 村 健 秀、 原 隆 新、 藤 原 稔  
森 元 通 友、 吉 田 利 雄

■欠席委員：3名

石 田 常 盤、 後 藤 孝 子、 佐 藤 美 佐 子

■出席職員：9名

大河 洋子（仙北支所長）	藤嶋 勝広（市民サービス課長）
進藤 一好（農林建設課長）	高橋 明子（仙北公民館長）
高橋 明美（市民サービス課参事）	佐藤コトミ（農林建設課参事）
須田 康平（仙北公民館主査）	高山 知洋（地域活性化推進室副主幹）
草薨 友也（地域活性化推進室主査）	

■次 第：

- 1 開 会
  - 2 会長あいさつ
  - 3 支所長あいさつ
  - 4 会議録署名委員の指名
  - 5 協 議
  - 6 そ の 他
  - 7 閉 会
-

(午後 6時 開会)

### ○吉田会長（以下「会長」と表記）

どうも、お晩でございます。大変お疲れの中であつたと思いますが、お越しいただきましてありがとうございます。九州のほうでは大変、大きな災害になっていてテレビで報道されておりますが、本当にお見舞い申し上げたいと思います。また、当地でも2、3日前から非常に暑くなりまして、皆さん苦慮していると思います。これから大きな災害等が無ければいいなと感じているところでございます。今日は、本当に限られた時間で皆さんお疲れの中での会議だと思っておりますが、出来るだけスムーズに進行していきたいと思っておりますので、どうぞひとつご協力の程よろしく申し上げましてあいさつに代えます。今日はご苦労さんでございます。

### ○大河支所長（以下「支所長」と表記）

どうも、お晩でございます。委員の皆様には、お暑い中、また、お忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。会議に先立ちまして私のほうからは、仙北地域管内の動きについてご報告させていただきます。仙北地域の自治会連合会の総会を6月15日に行ないまして、出来るだけ多くの方からお集まりいただきたいということで、今年夕方からの開催にいたしましたところ、今まで以上の代表者の方からお集まりいただきました。支所のほうからは、自治会支援事業と地域枠予算について説明させていただき積極的な活用をお願いしたところでございます。6月17日早朝の河川清掃には、626名の皆様から参加をいただきました。仙北地域では、昨年も620名が参加されておりました。毎年多くの皆様から参加していただいて、大変大きな成果を挙げていただいております。そして、この様な取組みが地域のコミュニティの促進にもつながっていると思っておりますので、本当にありがたいと思っております。6月27日ですが、このさくまる館の開館式を行ないました。市の事務事業以外にさくまる館を広く、皆様から気軽に使っていただきたいということで、今回6月の市の定例議会のほうに条例案を上げさせていただきましたので、ご承認いただきましたので、改めて開館式を行なってところでございます。さくまる館は、皆様から様々な場面でご利用いただいて世代間の交流又は、コミュニティづくりに活用していただければと思っております。また、6月30日の市政懇談会ですが、お忙しい中、参加いただきました委員の皆様本当にありがとうございます。懇談会では市民の方から積極的なご質問、ご提言など多くありまして、私達も本当に勉強になった懇談会でありました。最後になりますけれども、今日は地域枠予算のご審議のほかにも委員の皆様が日頃感じておられる地域の課題などもお話しいただく機会を設けております。どうかこの仙北地域がもっと元気になって明るく過ごしやすいところになるよう皆様のご意見、ご助言をよろしく願いいたします。これで終わります。

## ○会長

それでは、議事に入る前に、会議録署名委員を指名させていただきたいと思います。大河奈々子委員と草薙美香委員に署名委員を務めていただくようお願いいたします。よろしくお願ひします。それでは、議事に入らせていただきます。地域枠予算について事務局のほうから提示願ひします。

## ○藤嶋市民サービス課長（以下「市民サービス課長」と表記）

配布資料に基づき説明。

### ・実施類型Ⅰ型

№. 7 「柵の湯案内看板改修事業」

事業目的：案内看板が経年劣化により老朽化し、錆の進行が著しいため、改修を行って案内看板としての機能回復と付近通行時の安全を確保する。

申請団体：仙北支所市民サービス課

申請額：151,848円（修繕料）

## ○会長

はい。この件について皆さんからご質問、ご意見いただきたいと思ひます。

## ○森本通友委員

私も家が近所ですので、看板の状況などを目にしています。これから地域の人達以外の方にも目に付く機会が多いと思ひますので、非常にいいことだと思ひます。

## ○会長

はい。ありがとうございます。環境的な問題と合わせて先ほど、課長からもお話があったように交通事故防止のためにも改修したいということでしたので。その他にご意見ございませぬか。

## ○佐藤あや子委員

錆びているということもあったようでしたので、ねんりんピックもありますので新しくしていただきたいと思ひます。

## ○会長

皆さん前向きな、改修したらいいだろうというご意見でしたが、その他にご意見ございませぬか。なければ提案どおり承認させていただくことでよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○会長

ありがとうございました。それでは皆さんからご理解いただいたとさせていただいて次に入らせていただきます。説明をお願いします。

○事務局（地域活性化推進室）

配布資料に基づき説明。

・実施類型Ⅱ型

№. 8 「子ども健全育成実践事業」

事業目的：彩夏せんぼくの協賛事業として「子ども魚つかみ取り」を実施し、子どもの健全育成を図るほか、親子でのふれあいの機会を提供し、祭りの賑わいを創出する。

申請団体：仙北漁業協同組合仙北支部

申請額：162,000円（消耗品費）

○会長

ただいま説明がございましたが、この件についてご意見をいただきたいと思います。

○小柳伸一委員

毎年、子供達に好評で金額もそんなに大きくないし、いいことだと思いますので賛成です。

○タベルスキマイケル委員

ちなみにこれは何人位参加してるんですか。

○事務局（地域活性化推進室）

約150名位の参加です。

○タベルスキマイケル委員

素晴らしいですね。是非、続けてもらえればと思います。

○会長

ただいま2名の方からご意見いただきましたが、その他ご意見ございませんか。なければ、皆様からご理解いただいたものとさせていただいてよろしいですか。

（「はい」の声あり）

## ○会長

それでは皆さんからご理解いただいたとさせていただきます。それでは、次の事業について説明願います。

## ○事務局（地域活性化推進室）

配布資料に基づき説明。

### ・実施類型Ⅲ型

№. 9 「仙北中学校60周年記念事業」

事業目的：先輩達が育ててきた60年間の歴史と伝統に感謝と誇りを持ち、気概を高めるほか、生徒達がこの事業を通して各行事や活動に取り組む姿を地域の方々に見ていただき、地域との繋がりを深める。

申請団体：大仙市仙北中学校PTA

申請額：300,000円（補助金）

## ○会長

はい。ありがとうございます。この件につきまして皆さんからご意見をいただきたいと思えます。

## ○佐藤隆造委員

事業そのものは大変いいことだと思います。内容はどのようになっていますか。

## ○高橋公民館長（以下「公民館長」と表記）

公民館との連携事業ということで私のほうからお話させていただきます。今のところ事業の内容といたしましては、全校生徒による合唱、先輩に学ぶ会ということで仙北中のOBの後藤良さん、きれい研究所株式会社の茂木和哉さん、横堀の酪農家の佐藤匠さんから講演などいただきたいと思っております。まだ詳しいところまでは決まっておられませんけれども、この3人の方からの講演とかを考えているところです。

## ○会長

今、説明がありましたが佐藤委員さんいかがですか。

## ○佐藤隆造委員

ありがとうございました。

## ○小松郁子委員

私も卒業生ですが、息子達も「この大地より」を経験したこともあって、是非続けていってほしいですし、大変いいことだと思います。

## ○会長

2名の方からご意見いただきましたが、その他にご意見ございませんか。なければ皆さんからご理解いただいたものとさせていただきますのでよろしいですか。

(「はい」の声あり)

## ○会長

それでは、そのようにさせていただきます。次に移ります。説明お願いできますか。

## ○事務局（地域活性化推進室）

配布資料に基づき説明。

### ・実施類型Ⅲ型

№. 10 「仙北地域福祉施設慰問事業」

事業目的：仙北地域の福祉施設を慰問し、普段なかなか演奏会へ来られない方々に歌声を届け、様々な交流を通じて喜びを感じていただく。

申請団体：あじさいコーラス

申請額：50,000円（補助金）

## ○会長

ただいま、この事業について説明がありました。継続でございますが、非常に活発的に訪問活動をしながら、高齢者に憩いを与えているということでございます。本当に頭の下がる活動だと私は思いますが、皆さんからご意見をいただきたいと思っております。

## ○原隆新委員

聞くところによりますと、施設の方々が楽しみにしているようです。会員の方々も高齢になってきておりますが非常に頑張ってやっけていただいておりますので大賛成です。

## ○藤原稔委員

昔であればボランティアということで活動されてたんだと思うんですが、実際には、こういった謝金ですとか経費がかかっているんだなと感じました。人間ですから全てボランティアで動くかと言われれば無理ですし、これをやることによって楽しむ方もいて、これが生きる力になればこれはすごくいいことだなとは思っています。個人的には、もう少し予算を増やして1回のを2回にするとか、そういったことで楽しめる場を増やしてあげればいいのかなと思っております。

## ○会長

はい。ありがとうございました。前向きに検討していただいて、活動していただくことについては、こちらのほうに申請していただければ対応したいというような思いのようでございます。ここにも支出の部で、伴奏とピアノ借上げの謝金のみで、自分達はまるっきり労力奉仕は無償でやられてるとのことで、本当に頭の下がる活動をしていただいているのかなと私は思います。その他ございませんか。この件につきましてよろしいですか。

(「はい」の声あり)

## ○会長

急ぐわけじゃないんですが、皆さんからご理解いただいたものとさせていただきます。ありがとうございました。次の説明をお願いいたします。

## ○事務局（地域活性化推進室）

配布資料に基づき説明。

### ・実施類型Ⅱ型

№. 11 「川前西地区環境美化事業」

事業目的：国道13号線の川前地下道西出入口の花壇を整備し花卉を植栽し維持管理を行なうことで、地区住民や国道を往来する人達に潤いと安らぎを与え、活動を通して環境美化意識の向上と地域活動の活性化を図る。

申請団体：川前西町内会

申請額：235,440円（消耗品費）

## ○会長

ありがとうございました。これにつきましては、当初、あの場所が申請されなかったということで、第1回目のときに話をさせていただいたんですけども、先ほどの説明にございましたけれども、今は雑草がいっぱいで見るに耐えないということで、前年度のような活動をお願いできないかということで、佐藤美佐子委員にお話した経緯もございます。反対側の上り線のほうの交差点につきましては、商工会女性部の方々が継続で、そのような活動をしていただいておりますので、上り線、下り線とも同じような活動をしたらどうでしょうかってことでけしかけた経緯もございますので、その辺を踏まえながら皆さんからご意見をいただきたいと思います。

## ○小須田顕委員

こういった場所が雑草だらけだとあんまり気持ちがいいものではないので、賛成です。

## ○会長

はい。ありがとうございました。ねんりんピックとか色々あるということで、先ほど柵の湯の看板も改修するというものでありましたし、ここは本当に玄関口みたいになっているところでもありますので、あまり見苦しくしておくのもなってことで。また、管理せずに放っておくと不法投棄等の問題も出てくると思いますので環境を整備することによって美化的にもいいのかなと思います。

## ○草薙美香委員

地域の方々が気付いてやってくくださるってことは、すごく素晴らしいことなのかなと思いますので賛成です。

## ○森元通友委員

私もこの間初めてこの会に参加させていただいて知ったんですけど、ここを車で通るときに拝見させていただいて地域の方々非常に頑張っているなと感じます。お金のかかったことなので簡単には言えないんですけど、例えば植えてる花をもうちょっと絞り込んで付加価値を付けたものにする継続する価値が出てくるんじゃないかなと思います。

## ○会長

森元委員さんはこれを活かしながらも、知恵を出しながら皆さんがより喜んでいただける環境づくりを今後、考慮しながら進めていったらどうでしょうかってことですので、今回はスタートラインでございますので、反対側の上り線につきましては長年やられてます商工会女性部の方々が色々な知恵を出しながら環境づくりをしていただいておりますので、恐らく同じようなスタイルで動くんじゃないかなと思います。上りと下りでかけ離れたような環境ではないということで期待しておりますので、こうした意見が委員のほうからありましたよと伝えることは可能だと思います。その他にこの件に関しましてございませぬか。それでは、この件についてはよろしいですか。

(「はい」の声あり)

## ○会長

それでは、次の事業について説明をお願いします。

## ○大釜滝浩委員

上り場自治会の会長である大釜裕樹より、私が委任を受けてまいりましたので説明させていただきます。

配布資料に基づき説明。

### ・実施類型Ⅱ型

№. 12「上り場自治会集会所駐車場舗装整備事業」

事業目的：集会所周りは、砂利を敷いた状態であり、舗装整備することで、雨天時の水たまりの解消や砂利の散乱、轍などもなくなり維持管理が容易になり、地域住民が利用する際の環境と利便性が向上する。

申請団体：上り場自治会

申請額：766,800円（原材料費、使用料及び賃借料）

## ○会長

はい。今、説明いただきましたけれども、これから自治会館というものはコミュニティの場として大いに活用されていくと思います。また、高齢者の方々が集うところとしてこういう集会所が使用されるんじゃないかなと思ってます。足場のよいところで集会をしていただいて怪我もなく使用していく為にも必要なものだと私個人的には認識しておりますけれども、この件につきましてご意見をいただきたいと思います。

## ○大河奈々子委員

地域住民が利用する場所ですので足場をよくして子供たちやご老人の方も利用しやすい環境をつくるということですので賛成です。

## ○藤原稔委員

場所が分かるだけに、この面積に対してこの事業費は特価に近い金額だとは思いますが、申請者の事務担当者が大釜委員さんで見積もりも大滝建設さんとなっておりますので不信感を無くすために相見積もりを取るなどしたほうがいいのかなと思います。

## ○タベルスキマイケル委員

ちょっと聞きたいことがありまして、ここに砂利敷いてアスファルトで舗装して、何年位もつもんですか。

## ○大釜滝浩委員

15年はもつと思います。

## ○藤原稔委員

参道も舗装するんですか。

○大釜滝浩委員

参道の西側を舗装することになっています。

○会長

恐らく、参道は神仏の関係で公的なお金をそこに投入できないというような意見があるので、そこら辺は考慮しながら見積もりを出したと私は思いますけどもね。

○藤原稔委員

神社の敷地では。

○大釜滝浩委員

あそこは、神社なんですけど、お寺の跡になっていて男鹿の住職さんですが、今管理している人の代表がおりまして、集会所の土地もそこから借りています。借地なんですけれども了解はもらっております。

○佐藤隆造委員

境内なんですか。

○大釜滝浩委員

違います。写真を見てもらって、中心から右側が境内で正面にあるのが集会所です。右側に参道がありまして、参道を越えて広場になっている部分と集会所までの通路を舗装したいということです。

○佐藤隆造委員

以前、自治会館等に市から支援があったと思いますが、今はないのでしょうか。

○市民サービス課長

佐藤委員がおっしゃる通り、前は別の補助事業名であったと思います。今は、地域枠予算に包含されてまして、会館駐車場の舗装は、地域枠予算で対応しようということになってます。

○会長

よろしいですか。色んな意見がでましたけれども申請どおり承認させていただいてよろしいですか。

(「はい」の声あり)

### ○会長

それでは、申請どおり承認させていただくということでご理解いただきたいと思います。今回の地域予算については、これで終わりたいと思います。

次の仙北地域の課題についてということで皆さんに資料を事前に配布してございましたが、その件につきまして皆さんからご意見をいただきたいと思います。

### ○事務局（地域活性化推進室）

仙北地域の課題について配布資料に基づき説明。

### ○会長

ただいま説明がございましたけれども、皆さんからご意見をいただきたいと思います。

### ○佐藤隆造委員

この前、五城目から短歌・俳句の会がわざわざ仙北地域を指名して案内してくださいって要望があったみたいで、菅江真澄のことがテーマだったみたいです。わざわざそういうテーマを指定してくるってのは何故なのかなと考えたわけですが、菅江真澄の標柱やマップを作成したことを新聞等で見っていたのかなと思っております。だとすると真澄という人については皆さん大方ご存知だと思いますが、仙北町に来たときに詠った非常に良い短歌がありまして、自然石に短歌を彫ったら良いんじゃないかと思いつきました。たいしたお金もかからないんじゃないかと思いますが、色んな団体が観光なり教育なり、社会見学という考え方からそういうことに取り組んでももらえないだろうかと思案したいのが一点です。あと私、盛岡の小さな山をたまに歩いているんですけども、あそこに行くと何処に行っても宮沢賢治の詩を見かけます。観光という面もあるんだろうと思いますが、他から行った場合、非常に触発される面が多いなと思います。具体的なことについては今、一挙には申し上げませんが、こういうことに取り組んでもらえたらなと思いましたので発言させていただきました。

### ○会長

ありがとうございました。この地域協議会を介して菅江真澄の標柱の改修等をやりましてその後、マップにして全戸に配布しました。私個人的な考えなんですけれども、ここに払田の柵もございまして、歴史に深いつながりがある地域でございます。私は前々から言っておりますけれども菅江真澄は仙北だけじゃないってことで、大仙市全体を取り巻きながら文化のまち、史跡のまちとして位置づけしていくことも大仙市は、花火だけじゃなくこちらのほうも大いに観光資源として活用できるものじゃないかなと思います。その他にございせんか。

### ○タベルスキマイケル委員

私、14年前にここに来まして、払田の柵に行ったときに素晴らしいなと思ったんですけども、いつ建てたのと家内に聞きました。そのとき家内は分からないといいました。すごい長い時間がかかると思うんですけども、私もお客様を必ずあそこに連れていくんですが、もうちょっと毎年何かを建てたり直したりするともっともっとアピールができるんじゃないかなと思います。本当に少しでいいので、すごく時間はかかると思いますけれども。

### ○会長

ありがとうございました。別の視点から見るということは、恐らくタベルスキ委員は我々の見えない視点から見るができると思いますから、やはり地元にいる人間だけじゃなく、大変失礼な言い方かもしれませんが外部から見た目を活かせばこれからの大仙市につながっていくのかなと思います。小須田委員さんも他の地域から来てるから都会からの目線で見るとどうでしょう。

### ○小須田顕委員

都会からではないんですけども、農業をやっております、思うところがあって。高齢の農業者達が、離農されていかれることは結構あるんじゃないかなと思っています。そればかりはしょうがないんですけども、農地に関しては農地バンクで集積化が進んでいると思うんですけど、使わなくなった機材やビニールハウス、ああいうのを例えば僕であったり、若い新規就農者なんかに円滑に譲渡できる仕組みがあれば嬉しいなど。私事なんですけれども、今ビニールハウスが欲しいんですけど、高くて手が出ないので、そういうのを譲ってくださる仕組みがあればすごいうれしいなど。もっと幅の広げた農業ができるなと思っています。検討していただけたらありがたいです。

### ○会長

ありがとうございました。若者の育成についても今みたいなものが大切だと思います。あるものを捨ててじゃなくして使えるものは使ってってことで大切なことだと思います。

### ○小柳伸一委員

私は消防の推薦でここへ来ているので、防災のことについてですが、ここの大仙仙北地域は一部を除いて平坦な地域で、ほとんど災害は起こらないと思っておりますし、実際に年配の方々から、ここは災害がなく一番いいところだと聞くことがあります。しかしながら、昨年の熊本の直下型地震ですとか50年に一度の大雨による堤防の決壊だとかは日本全国どこでも起こりうると思っています。私達は恵まれた土地にいるおかげで、防災意識に関してこの地域は低いのではないかと個人的には思っています。私達消防団や災害予防組合が、行政と一体となって防災訓練などをもっともっとやっていく必要があるのではないかと思います。常に防災意識を高くもっていくことが課題なのかなと思いました。

## ○会長

ありがとうございました。ここでは大きな災害に遭遇することがないってことで、雪が少し多いくらいのもので忘れた頃に風害がくるくらいのもので、あまり大きな災害等がないってことですが言われたとおりで緊急事態に対応できるような環境づくりを行政だけじゃなく地域も地域の中で協力しながら、活動できる環境づくりをしなければならないと私も思っているところがございます。その辺を踏まえながら今後の仙北地域の防災に対することを考えていきたいと思えます。その他に記載してきた中で、色んな意見がでましたけれども何かございませんか。なければ、皆さんから記載してもらった資料をもって事務局のほうから総括していただくということによろしいですか。

(「はい」の声あり)

## ○会長

それでは、次の未来を語る会についてお願いします。

## ○事務局（地域活性化推進室）

平成 29 年度仙北地域の未来を語る会について配布資料に基づき説明。

## ○会長

ただいま仙北地域の未来を語る会について今までの実績をご報告いただきましたけれども、これも事前に委員の皆様をお願いをしてございます。皆さんからご意見を伺いたいと思えます。

## ○森元通友委員

テーマというか中心を大人ではなく、例えば子どもにスポットを当てて今の地域で皆さん何が楽しいですかとか、どんな仙北地域だったら楽しいですかっていうのを意見を話してもらおうのがひとつです。また、就労者や高校生にどんな仕事に就きたいですかとか。でも今の現状だから仙北に残れないとか、どんな会社があったらここで働きたいですかっていうのを聞いて実際無理な部分と理想の部分をすり合わせながらディスカッションして、子ども達がどういうこと考えてるのかなってことを聞きたいと思えます。子ども達って不可能なことでもこうしたいっていう純粋な気持ちっていうか意見が出ると思えますので、今すぐはできなくても 20 年、30 年後でも子ども達の未来を語る会っていうのも斬新ではないかなと思えました。

## ○会長

はい。大変貴重な意見をいただきました。テーマを子どもに持たせて、中高生については、就労場所にどのようなものを望んでいるかということのようです。その他にございませんか。

## ○草薨美香委員

私も大仙市内の他の地域から嫁に来たんですけれども、子育て中は地域のこととかも全然触れることはなくきたんですが、今は少し落ち着いて、ここの地域ってこんな良いところあったんだなって思うようになりました。池田氏庭園ですとか、分家庭園のライトアップですとか素敵だなと思うようになったんですけども、他の地域とかもそういったところを活用してイベントをやったりだとかしてありますが、催し物はあるんですけども、ただライトアップしているだけだと勿体無いなと思いました。例えば今、結婚する人がなかないということで、そういうイベントやったりだとかあると思いますが、仙北地域だけのものを選定するのってなかなか難しいと思いますので、例えばお酒だったら大森のワインだとか隣の中仙や神岡にも酒蔵はありますので、そういうのをドッキングさせて、20代30代の若い世代の人達が色々と楽しめるイベントがあったらここの地域に居ようかなと思ったり、ここで根を張ろうかなと思ったりしてくれるのではないかと考えてました。

## ○会長

ありがとうございました。出会いのチャンスになるようなイベントを地域の観光施設を活用してやったらどうかということでした。この辺も合わせながら未来を語る会で検討できる課題、皆さんから協議いただく課題もでてくると思います。

## ○中村副会長（以下「副会長」と表記）

小須田さんに意見を伺いたいんですけども。こちらに来られて大変ご苦労もあったと思います。他にもそういう人に来て欲しいと思いますか。

## ○小須田顕委員

そうですね。是非、都会からも僕みたいに人が来てくださればありがたいなと思っています。そういうので地方の発信の仕方で、秋田で成功してらっしゃる方で考えたときに今、五城目にシェアビレッジっていう古民家を再生して、そこを第二の故郷にしようってことで都会の人を呼び込んで、そういう仕組みを上手くまわしてらっしゃる方がいて、その方の話を個人的に聞いてみたいなど。そういう仕組みが仙北でも作れば都会から人を呼ぶことができるんじゃないかと思いました。

## ○会長

仙北には魅力が無いわけじゃないと思いますので、それをどうやって伝えるかということでしょうけれども。色々ご意見を伺いましたが、議事についてはこれで閉じてよろしいでしょうか。事務局のほうもよろしいですか。

（「はい」の声あり）

○会長

その他について何かございますか。なければ会議を閉じてよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○会長

大変、貴重な時間ありがとうございました。色んな意見をいただきましたけれども、この意見を持って次の会を進めてまいりたいと思います。今日は、本当にご苦労様でした。

(午後 19時30分 閉会)

---

仙北地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

大 河 奈々子

---

草 薨 美 香

---